

第2回議会の議員の定数及び任期の取扱いに関する小委員会次第

日時：平成16年1月29日（木）
第6回上越地域合併協議会終了後
会場：上越市厚生南会館 大会議室

開会

1 審議

(1) 採用する特例措置について

(2) 特例措置の期間について

2 その他

閉会

平成 20 年 4 月時の上越市議会議員選挙(合併後初の選挙)

形態別の議員数・配分 及び 1 票の格差 比較

【注】人口、比較数は全て概数】

(中選挙区 = 「仮の区割り」で行った場合)

市町村	人口 (人) [概数]	A = 増員 議員数 (小選挙区)		B = 削減数 議員数 (選挙区)		C = 法定数 (大選挙区) 議員 1 人 当の人口	備考	
			1 票の格差 (人口比で)	24 人	議員 1 人 当の人口			
上越市	134,760	30 人	1.81	7 人	{138,140 人}	38 人 議員 1 人 当り人口		
名立町	3,380	1	1.37		5,755 人			
柿崎町	12,110	3	1.63		{38,020 人}			
大潟町	10,860	2	2.04					
頸城村	9,540	2	1.92		5,430 人			
吉川町	5,510	1	2.22					
三和村	6,290	1	2.53 [最大]		4 人			{22,290 人}
清里村	3,210	1	1.25					
板倉町	7,530	2	1.52					5,575 人
中郷村	5,250	1	2.12					
牧村	2,990	1	1.20		3 人			{13,400 人}
浦川原村	4,200	1	1.69					
安塚町	3,730	1	1.51					5,470 人
大島村	2,480	1	[最小 = 1]					
合計	211,870 人	48 人		38 人	平均 = 5,575 人	38 人		

ブロック制で、公平で均衡有る選挙

- ★ 大合併は周辺地域がさびれ、住民の声が届かなくなる恐れが大きい。議員が地域ごとにバランスのとれた選出された、公平で均衡ある議会運営が必要である。
- ★ 14 もの広域大合併は、地域間の違いが大きい。旧・町村の枠を超えて共通する環境の「エリア = 中ブロック」の町づくりが大切になる。
- ★ 中選挙区制は、議員の選出範囲が合併前より大きく広がり住民の選択権は広がる。
- ★ 議員候補者は、いきなり大面積(なじみの薄い所まで)の運動は不自然であり、一定の範囲でより広くなった選挙区で運動し洗礼を受けることが最も自然で効果的と言える。
- ★ 増員・小選挙区は最大 2.5 倍の「1 票の格差」が生ずる。7 年は長い。合併して一体性ある町づくりを目指すに、いつまでも人口バランスの大きな差を残すべきでない。
- ★ 10 人増で 4 年間の議員報酬では、3 億 3 千万円の負担増となる。財政状況から、合併効果でコスト削減に取り組むべきだ。